

実現

この仕事をお引き受けする時に、「やってみたい」そう思っていたことが、周りの力添えで形となりました。
感激。ただただ感謝です。

11月8日（日）『今金っ子わくわくフェスティバル』の開催。

夢はこのシャボン玉のようにこの後も、この後も続きます。続かせます。

「読書と作文のまち」ってどういうことですか？
その一つの返答でもありました。

『今金エッセイコンテスト』の実現。

プロジェクトチームの皆さん、小川ひとみチーフ。指導をしてくださった学校の先生方、そして趣旨に賛同してエッセイを応募してくださった町民の皆さん、児童生徒の皆さん。

審査をお願いした皆様方。発表を華やかに彩っていただいた絵本作家・小寺卓矢先生、ハーピスト・更科理恵先生、朗読をしてくださったプロジェクトチームの方々。消毒作業までしていただいたスタッフ。

時にしっとりと、時に躍動的に、そして時には会場と一緒に盛り上げてくださったステージ発表の皆さん。マザーズぽけっと・フェアリーテイル・ひのき屋さん。

出店にご尽力いただいたハローブック・ボンボンチセ・ワークショップいまかね・青年会議・コスモ調剤薬局・つきあかりキャンドル・ピリカ旧石器文化館・スポーツ推進委員の皆さん。

マスコミ関係、役場関係。本当にお世話になりました。そして、さらに良いものへ、と。来年もまたよろしく願いいたします。





教育委員リレーエッセイ

『コロナ禍の中で思う』



今金町教育長職務代理人

田中 稔

今回の寄稿ほど取り掛かるまで時間を要した事はありませんでした。もとより自身の持っているものの少なさなのですが、このコロナ禍の影響も感じました。

医療現場・学校現場をはじめ、ウイルス対応で日々ご奮闘、ご苦労されている多くの皆さんには、大変申し訳ないのですが、2月下旬以来、委員として関わってきた多くの各種行事・事業、会議、研修等々が中止、延期、簡略化が余儀なくされ、気の持ち様が低下したのかなと感じます。今一度意識を持ち直さなければと考えては居りますが……。

町内会・自治会活動も含め様々な地域活動、社会教育関連の団体活動も少子高齢化・過疎化等により担い手不足・後継者不足の課題がありましたが、このコロナ禍での自粛ムードがより一層の活動停滞と成らないかと心配します。今後様々な工夫と行政の支援も要すると思います。

新型コロナウイルス感染症が出現・拡散した今年前半は、温暖化による気候変動・自然災害の多発等も含め地球環境保全や、過度に進展する都市集中・製造業の生産拠点の集中、必需品の生産・旅行者・労働力等の過度な海外依存を警鐘する論評に接しましたが、この頃は更なる技術革新により一層の経済効率・経済発展を求めるコメントが多いと感じます。警鐘されていることに対応しつつ、大量生産大量消費を見直し、地域格差・階層格差の少ない社会を望みます。

戦後昭和の時代に生まれ育ち、若い時も昭和だった者として、「何かと多人数が集まり、ワイワイと議論をし、行動を共にし、親睦（ノミネーションを含む）を好む」昭和世代の行動は、このコロナ禍にあっては最も避けなければ成りません。

平成の時代は情報・通信技術など生活の利便性が特段に良くなりましたが、個別志向・行動のマニュアル化・議論の回避・経済効率最優先の価値観・過疎化と都市集中等々が深まり1億総中流と言われた時代から格差が広がった時代と成りました。

ますます進化する科学技術を活用する無人化や対面無用の生活様式、物事の多くを機械が判断するこれからの令和の時代。

技術革新についていけない昭和世代は便利に成るのか、生きにくく成るのかと無用な心配もして居ります。自助努力自己責任の心構えと「ケ・セ・ラ・セラ～成るように成る」の精神も持ちながら、田舎ならではの人のつながり・地域のつながりを大切にしながら心豊かに生きたい昭和おじさんです。

